

令和6年度 飯田市優良建設工事

表 彰 式

◎ 式次第 ————— ◎

- ・ 開会
 - ・ 市長あいさつ
 - ・ 優良建設工事紹介
 - ・ 賞状・記念品贈呈
 - ・ 来賓祝辞
 - ・ 受賞者謝辞
 - ・ 閉会
-

令和6年11月28日（木曜日）

飯田市役所 C311・312・313 会議室

飯 田 市

表彰工事

1 工事名 令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 道路改良工事

工事箇所 市道 1-61 号下虎岩中央線 飯田市下久堅下虎岩

工事概要 施工延長 L=280.0m W=5.0m
土工一式
プレキャスト箱型擁壁 A=83m²
プレキャストボックスカルバート L=48m
自由勾配側溝 300 型 L=85m
鉄筋コンクリート台付管 L=86m
アスファルト舗装 A=2,680m²

表彰理由 本工事は、下久堅地区を南北に縦断する市道 1-61 号下虎岩中央線と交差する市道の交差点改良を含む道路改良工事及び交差点部を横断する（準）宮の沢川の布設替工事である。

本工事の施工では、一括入札とした上下水道管の布設替工事も行なうなど、多数の工種に及ぶ道路改良工事であったが、適切に工程管理を行いつつ工事を進めるとともに、作業員等への安全教育や安全対策も確実にを行い、良好な現場環境を保つことにより無事故で工事を完成させた。

また、仮設通学路の設置や利用者への適切な誘導等に尽力し、通行規制が地域住民へ与える影響を最小限に留めるなど、模範となるべき取り組みが顕著であった。他にも、工事期間中に周辺道路施設の清掃を実施するなど、ボランティア活動にも積極的に取り組んだ。

施工者 有限会社今村工務所 代表取締役 今村 昭一
現場代理人 中平 一夫



(しゅん工)



(着工前)

2 工事名 令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 道路改良工事

工事箇所 市道上郷 489 号線・市道上郷 490 号線

工事概要 施工延長 L=167m W=7～9.75m
擁壁工 L=20m
排水構造物工 1 式
舗装工 A=1,430 m²

表彰理由 本工事は、国道 153 号及び農免道路、県道市場桜町線の 3 路線を新たに結ぶ道路の改良工事である。

工事の施工においては、住宅地に近接していることから、工事車両の通行等、近隣住民の安全確保や生活環境への配慮が求められており、適切な施工管理に努めた。

また、当該現場付近では、リニア本線工事や長野県が進めるリニア関連工事が行われており、これらの工事との調整を綿密に行い、しゅん工することができた。

さらに三次元測量を活用するなど、新しい手法を取り入れながら現地の把握を行い、適正な施工管理に貢献した。

施工者 有限会社畑中工務所 代表取締役 園原 佳宏
現場代理人 吉川 毅



(しゅん工)



(着工前)

3 工事名 令和5年度 飯田市美術博物館特定天井耐震補強工事

工事箇所 飯田市追手町2丁目 655 番地 7

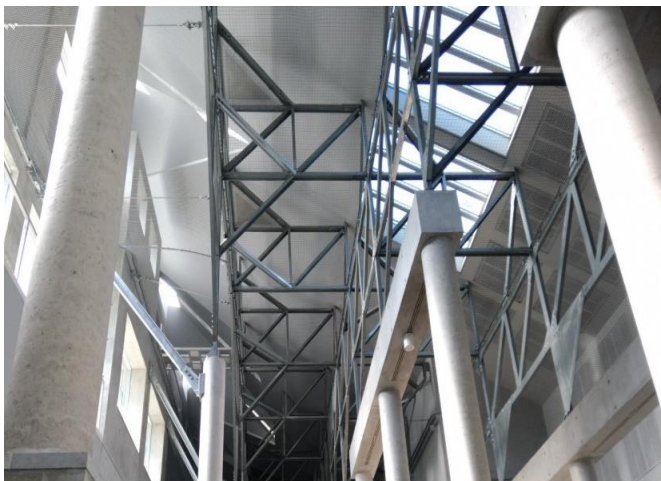
工事概要 ホール特定天井耐震補強工事 一式

表彰理由 本工事は美術博物館メインロビーの特定天井に係る落下防止措置として、新たにネットを設置することを主とする耐震補強工事である。

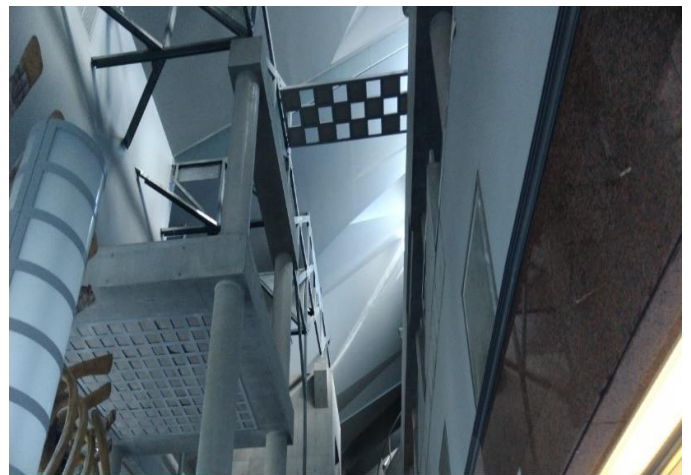
あらかじめ、美術博物館の閉館期間が決まっていたため工期の制限が厳しく、さらには建物内部の工事のため、足場の運搬などに重機を利用できない状況であったが手直しなく、工期内に工事を完了した。

また、工事の進捗にあたっては設計監理者である設計者の（株）原広司・アトリエ・ファイ建築研究所と頻繁に協議を重ねる必要があったが、予定した工程表のとおりにより事業を進められたことは現場代理人の力量によるものであった。

施工者 吉川建設株式会社 代表取締役 吉川 昌利
現場代理人 奥村 健一



(しゅん工)



(着工前)

式列席者名簿

		(敬称略)	
表彰者	有限会社今村工務所	代表取締役	今村 昭一
		現場代理人	中平 一夫
	有限会社畑中工務所	代表取締役	園原 佳宏
		現場代理人	吉川 毅
	吉川建設株式会社	代表取締役副社長	吉川 賢
		現場代理人	奥村 健一
来賓	飯田市議会	議長	熊谷 泰人
		副議長	竹村 圭史
		総務委員長	清水 優一郎
		社会文教委員長	永井 一英
		産業建設委員長	福澤 克憲
	飯田建設業クラブ	会長	北沢 資謹
	飯田商工会議所建設産業部会	副部会長	北原 市督
	長野県建設業協会飯田支部	事務局長	二村 謙司
飯田市	市長		佐藤 健
	副市長(優良建設工事審査委員長)		高田 修